

主催：公益社団法人日本観光振興協会
後援：内閣府　観光庁

観光DX検定（正式名称：地方創生データサイエンティスト認証制度）

・人口減少などによる慢性的な人手不足の中、DXにより生産性を向上させる必要性

・地域課題の解決のためデジタルツールやデータ連携などが進む一方、データを分析・戦略策定できる人材の不足

・観光に特化したスキル基準や制度などの不足

観光DX検定
TOURISM DIGITAL TRANSFORMATION PROFICIENCY TEST
の創設

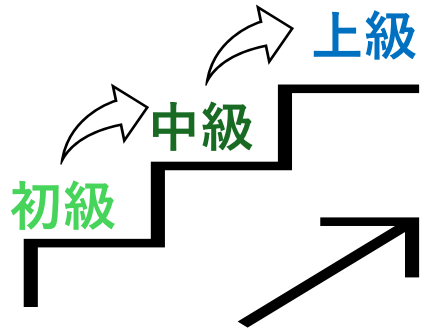
主催：公益社団法人日本観光振興協会
後援：内閣府　観光庁



・観光DX検定は、2025年にスタートし、今年で2年目を迎えます。

・観光に必要なデータ活用の力を、**初級・中級・上級の3段階で学びます。**

・データの基礎を知ることから、観光地経営やマーケティングにデータを活かし、戦略を考える力まで、**段階的に身につけていきます。**



初級：データを知る力
中級：データを使う力
上級：データでビジネスを
組み立てる力

受験申込から合否通知までの流れ

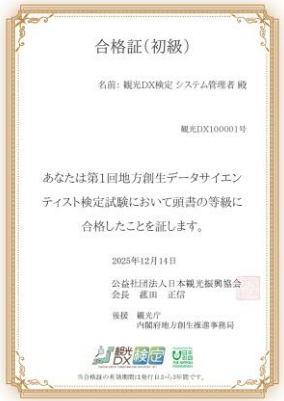
2026年

	WEB申込	学習期間	申込締切	検定試験	結果通知
第2回初級	9月14日	申込締切11月24日まで 学習は12月5日まで		12月6日	12月中旬
第1回中級	11月30日	申込締切2月5日まで 学習は2月20日まで		2月21日	3月上旬

webサイトからお申込み、
お支払い後、受講URL
ご案内

IBT方式

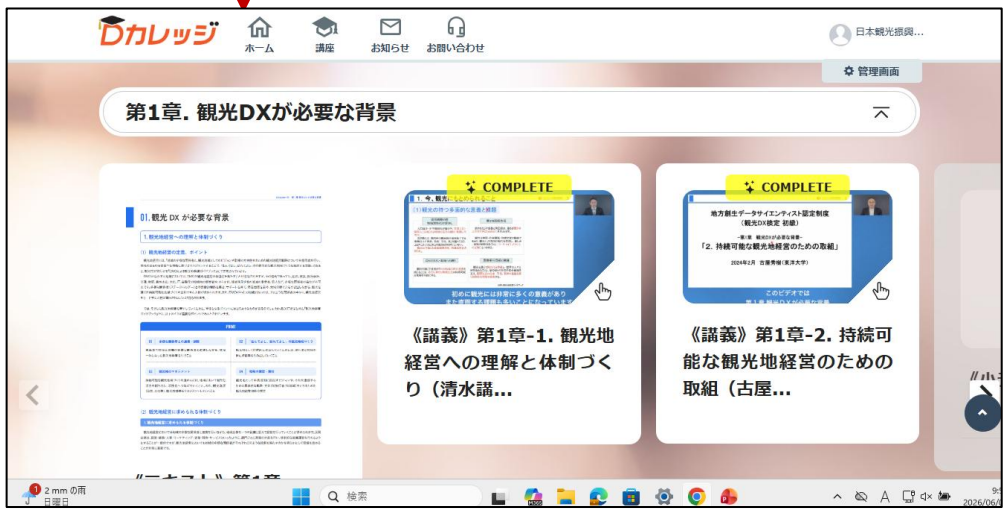
Eラーニングシステム上の
マイページにて合否確認
合格証ダウンロード



学習の目安

初級試験・10時間程度

Eラーニング画面



初級



データを
知る

初級	**目標スキル：正しくデータを集計・分析し、集計したデータを正しく読み解く上で、必要となる基礎的知識を有している。** ✓観光DXが必要である背景を知る ✓簡便なデータを集計するための知識を学ぶ ✓データをもとに作成された数値、及びグラフについて正しく理解し、傾向を読み解くことができる （統計検定の4級程度の知識） ✓観光地経営で取り上げられるデータの特性、指標設定の考え方を学ぶ 認定基準：選択式テストによる合格基準点を設けて認定　7割以上の正答で合格

・観光DX検定は2025年にスタート　これまでの実績や受験者の声をご紹介

2025年12月実施
初級試験結果

受験者	304名
合格者	268名
合格率	88%

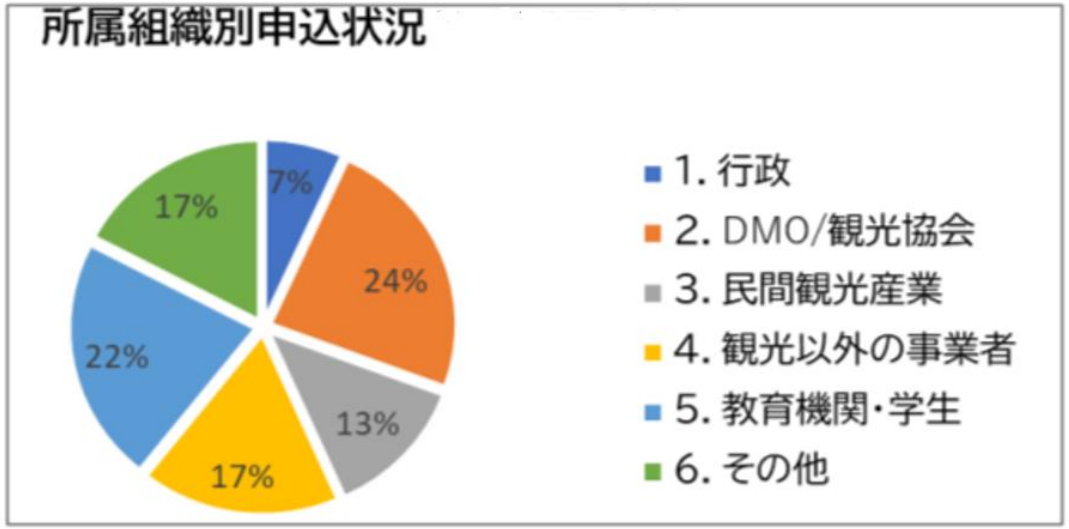
どんな人が受験している？
観光に限らず、さまざまな業種の方が受験しています

●仕事に活かすために、基礎から学びたい方
観光地域づくり・マーケティングなどの仕事でデータを活用したい。
でも数字はちょっと苦手。そんな方が基礎から学ぶため受験しています。

●これからの観光を学ぶ学生の方
観光や地域づくりを学ぶ学生の方。これからの観光に必要なデータ活用の基礎力を、学生のうちから身につけられます。

受験者の声

●人流データで、経路がわかったり、数がわかったりする**理由を理解できました。**（民間事業者）
●**今まで何となく**SWOT分析をしていましたが**データに立ち返って整理すると議論もしやすく**て、役立ちました。（地域DMO）
●委託先の説明で**わからないところを、思い切って質問**できるようになりました。（観光協会）



・豊富な教材をオンラインで、基礎からわかりやすく学べます

初心者にもわかりやすく、また体系的に、初級検定に必要な知識を学べる教材セットです。
観光DXの基本から、データ分析、観光地経営やマーケティングまで学べます。
動画や実践問題はEラーニングで、いつでも・どこでも・自分のペースで学べます。

●3つの章で、観光DXの基礎を学ぶ

第1章 観光DXの基本的な考え方
・観光DXが必要な背景
・観光地経営への理解と体制づくり
・持続可能な観光地経営のための取組

第2章 観光データ分析に必要な基礎知識
・統計の基礎と分析の考え方
・観光動向を把握する方法

第3章 観光DXの実践手法
・観光動向を把握する方法
・データドリブン経営における目標指標の設定
・観光地のマーケティング戦略策定とデータ活用
・観光動向分析ツールの使い方

●学びを深める4つの教材



テキスト
初級検定に必要な知識を体系的に学べる基本教材。



動画10本
各テーマを専門家がわかりやすく解説。テキストとあわせて確認できます。



推奨分析ツール
RESAS、 e-Stat 、観光予報プラットフォームなど、観光データの分析に活用できるツールを学びます。



実践問題100
過去の出題をもとにした問題で、学んだ知識を確認し、検定に向けた実践力を身につけます。

●教材セット利用料

・一般：33,000円（税込）
（日本観光振興協会会員　29,700円（税込）
・学生：22,000円（税込）

テキストのみも販売3300円（税込）

●初級受験料

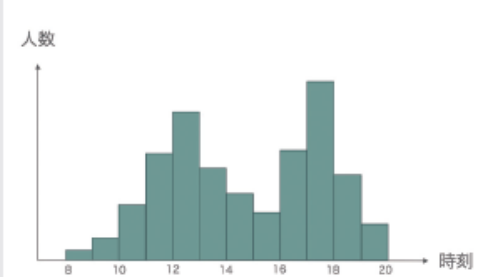
検定受験には別途費用がかかります
・一般：6,600円（税込）
・学生：3,300円（税込）

観光DX検定初級テキスト改訂版
第２章　２－(1)「データの可視化と読み取り」より抜粋

04　ヒストグラム

<特徴>
・データを等間隔の区間（ビン）に分け、各区間の頻度を棒グラフで表します。
・データの全体的な形状や中心傾向、散らばりを一目で把握できます。
<使い方>
・x軸にデータの値、y軸に頻度をとります。
・データの範囲を適切な数の区間に分けます。
・各区間に含まれるデータの数を数え、棒グラフで表します。
<例>

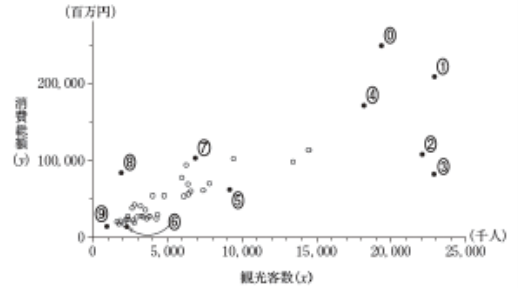
例：時間帯別入館者数



…覚化します。
…傾向を把握するのに役立ちます。

<使い方>
・x軸とy軸にそれぞれ変数をとります。
・各データポイントを座標平面上にプロットします。
<例>
観光客数と消費総額を「プロット（点として配置）」することで、観光客が多い地域ほど消費額も高くなる傾向（相関）があるかどうかを確認できます。

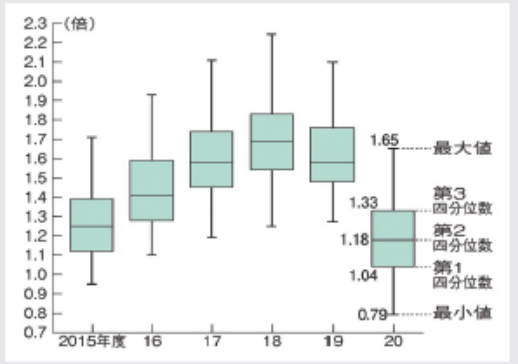
例：観光地の観光客数と消費総額の散布図グラフ



06　箱ひげ図

<特徴>
・データの中央値、四分位数、最小値、最大値を一つの図で表現します。
・データの散らばりや外れ値を簡単に確認できます。
<使い方>
・箱の中央線が中央値を表します。
・箱の下端が第1四分位数、上端が第3四分位数です。
・ひげの端が最小値と最大値を示します（外れ値を除く）。
<例>
複数の観光地の月間来場者数を比較する際に使用すると、各観光地の集客パターンの違いが分かります。観光地ごとの平均的な来場者数の比較、繁忙期と閑散期の来場者数の変動幅など。

例：主要観光地の月間入込率の分布



2026年観光DX検定【初級】学習教材セット（続き）

1. 統計データ

観光統計やアンケート調査のような統計データは、“観光地や旅行者全体の行動や状況”の把握に向いています。そのため、広い目線から全体を俯瞰して、大きな傾向や変化を捉えたい時に活用すべきデータです。

統計データは、オープンデータとして公開されているものが多く、マーケティングプロセス全体を通じて活用できる基礎的なデータですが、旅行者の行動やニーズを詳細に分析する際には活用しづらい点に留意する必要があります。

また、以下の図のように同じ観光庁が実施する統計調査においても、調査内容によって調査対象や調査項目、そして調査規模などが異なっていることが分かります。データを実際に分析していく前に、そのデータにどんな特性があるのか、きちんと理解することが必要です。

観光庁実施の統計

調査名	開始年	調査目的	調査対象	主な調査項目	
旅行・観光消費動向調査	2003年度	旅行・観光における消費実態の把握	日本人	旅行回数，旅行時期，**消費内訳**	26,000人
インバウンド消費動向調査	2024年	訪日外国人客の消費実態の把握	外国人	旅行回数，旅行時期，**消費内訳**	全国29空 4回，全
宿泊旅行統計調査	2007年	宿泊旅行の全国規模の実態の把握	日本人 外国人	都道府県別居住地別月別**延・実宿泊数**	全宿泊
共通基準による観光入込客統計	2010年	観光入込客数と消費額の全国規模の実態の把握	日本人	都道府県別四半期別観光入込客数・**属性別平均消費額**	観光地点 光地点で するパ 推計

これらのオープンデータとして公開されているデータは、都道府県単位のものが多く、市町村単位 データを取得・蓄積していくことが重要です。

観光DX検定初級テキスト改訂版
第３章（2）「観光動向分析のためのデータ種別と特徴」より抜粋

代表的な統計データ

- 観光統計（官公庁・JNTO）
- アンケートデータ（官公庁・JNTO）
- 調査報告書（政府系機関、シンクタンク、ソリューション提供事業者など）
- 各省・各種センサスなど（RESAS）

	データ種別	観光産業の活動実態把握	観光客の周遊行動把握	観光客の消費行動把握	観光客の評価把握
統計データ	統計	○現象を広域・多時点で把握可能 △現象の生じた要因は直接的に把握不可能	○現象を広域・多時点で把握可能 △現象の生じた要因は直接的に把握不可能	○現象を広域・多時点で把握可能 △現象の生じた要因は直接的に把握不可能	○現象を広域・多時点で把握可能 △現象の生じた要因は直接的に把握不可能
旅行者データ	アンケート調査	○現象の生じた要因を直接的・詳細に把握可能 △広域・他時点での実施が困難	○行動の要因も直接的・詳細に把握可能 △回答の信頼性・精度にやや問題あり	○消費の要因も直接的・詳細に把握可能 △回答の信頼性・精度に大きな問題あり	○評価の背景を直接的・詳細に把握可能 △広域・多時点での実施が困難
	位置情報（GPS/電波）	×	○エリアの時刻別滞留密度や個人の移動軌跡を把握可能 △行動の要因は直接的に把握不可能	×	×
	検索（目的地/経路）	×	○観光施設の日時を含めた訪問ニーズが高精度に把握可能 △実際の訪問は必ずしも保証されない	×	×
	SNS（テキスト/画像）	○活用内容を多様かつ広範に把握可能 △書き込み頻度，内容等の主体間のバラツキ大	○個人の滞在場所や行動を直接把握可能 △書き込み頻度，内容等の個人間のバラツキ大	○消費項目を具体的に把握可能 △書き込み頻度，内容等の個人間のバラツキ大	○細かい評価要因を把握可能 △書き込み頻度，内容等の個人間のバラツキ大
	決済（クレカ/アプリ）	○高精度な売上データが把握可能 △現金決済部分は把握不可能	○カード決済による訪問エリアの把握が可能 △決済を通さない活動は把握不可能	○消費項目と金額の直接的な把握が可能 △現金決済時の把握は不可能	×

解像度は荒いが信頼性が高い

量は少ないが要因が把握できる

質の差が大きいが大量である

観光DX検定試験初級教材セット・動画お試し視聴

・実際の教材セットでは、購入決済後、動画を視聴する前に身分証（パスポート・マイナンバー・運転免許）の登録が必要です。

・今回は、疑似体験をしていただくため、YouTubeを使って実際の教材セットの動画の一部を公開し、体験いただけるようにしてあります。

・実際の動画は約30分の動画（講義内容により、若干長さは異なります）が初級は10本・中級は8本あります。こちらの動画は、体験版のため、冒頭の10分弱の内容を収録しています。

観光DX検定試験初級試験・お試し模擬受験

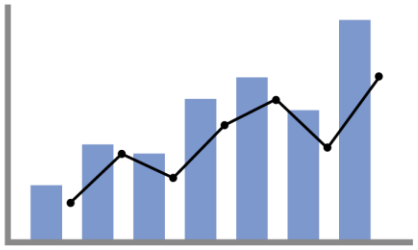
・検定試験は、実際には、IBT方式で実施します。

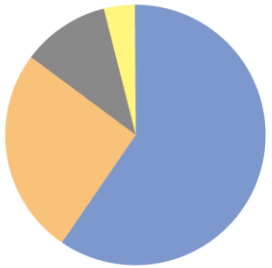
・検定試験の受験には事前の身分証（パスポート・マイナンバー・運転免許）などの登録が必要です。

・今回は、疑似体験をしていただくため、Googleフォームのテスト機能を使って、9月13日に実施した初級試験の問題の一部を体験をしていただきます。

・回答を送信後、「スコアを表示」ボタンを押すと、得点と正解、簡単な解説が表示されます。
（実際の検定試験では、得点・解説の表示などはありません。）

中級







データを
使う

中級	**目標スキル：データや分析結果などを読み解く上で欠かせない判断基準をもち、観光計画やマーケティング戦略の様々な場面においてデータを選択し判断する力を有している。任意の観光地における傾向（強み・弱みなどの特性）を明示でき、かつその背景について考察することができる知識を有している。** ✓初級の基礎的知識の維持が前提 ✓正しい手順、手法に基づいて最適なデータ選択、集計、分析方法を選択できる（統計検定の２級・3級程度の知識） ✓観光地の動向分析やマーケティング実務において、知識を基にデータを活用でき、その結果から背景について考察ができる ✓認定基準：選択式テストでの試験

・初級で学んだ知識を基盤に、データの使い方・マーケティングの実践を学ぶ

初級で学んだ知識を生かしながら、データの使い方とマーケティングの実践を学べます。
動画や小テストはEラーニングで、いつでも・どこでも・自分のペースで学べます。

●教材セット利用料

・一般　44,000円（税込）
・日本観光振興協会会員　39,600円（税込）

※中級試験ではテキストのみの販売、学割はありません。

●中級受験料

検定受験には教材セットと別に受験料がかかります
・一般：8,800円（税込）

※中級試験受験料は学割・協会会員割引はありません。

●データサイエンスとマーケティングを実践的に学べる教材



テキスト

テキストは、中級検定試験に必要な知識を実践的に学べる基本教材です。データサイエンスの分野では、東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 観光科学域 教授の清水哲夫氏、マーケティング分野では、早稲田大学大学院 経営管理研究科 研究科長・教授の池上重輔氏を中心にご指導いただき、学術的な見解を取り入れながら、実務に必要な知識を体系的に学べる内容としています。



動画 8 本

動画では、テキストだけでは説明が難しい部分を専門家がテキストの内容を補完して解説することにより、受講者の理解度を高めます。



小テスト

さらに、試験の対策として、テキストで学んだ内容を確認するための小テストを解くことにより、知識を定着させるとともに検定試験の合格を目指します。

●テキスト構成　※内容は最終調整中であり、今後変更の可能性がございます。

第１部　データサイエンス

・観光とデータサイエンス
・観光関連統計
・地域観光計画立案に役立つ分析手法
・観光政策評価手法
・観光による経済波及効果の分析手法
・観光地及び観光行動の評価手法
・ソーシャルビッグデータを活用した地域観光の評価手法
・観光理解のためのビッグデータ分析とビジュアライゼーション技術
・地域観光に関する分析サポート技術

第２部　観光マーケティング

・観光マーケティングの再定義と観光DXの役割
・地域観光価値戦略
・地域観光価値を起点とするマーケティング戦略設計
・旅行者体験とマーケティングミックスの実装
・データから行動へ
・観光DXを実現する組織変革マネジメント
・グローバル観光マーケティングと異文化マネジメント

2. 施策評価のためのKPIとデータ

評価の結果から次の改善策へつなげる

イベント施策に対する評価結果の例

指標	前回	今回	評価
来場者数[千人]	10	12	増加↑
1人あたり消費額[円]	3,500	3,000	減少↓
平均滞在時間[時間]	3	3	変化なし
訪問した周辺店舗数(平均)[件]	0.4	0.35	減少↓
来場者満足度(5段階評価の平均)	4.1	4.4	上昇↑

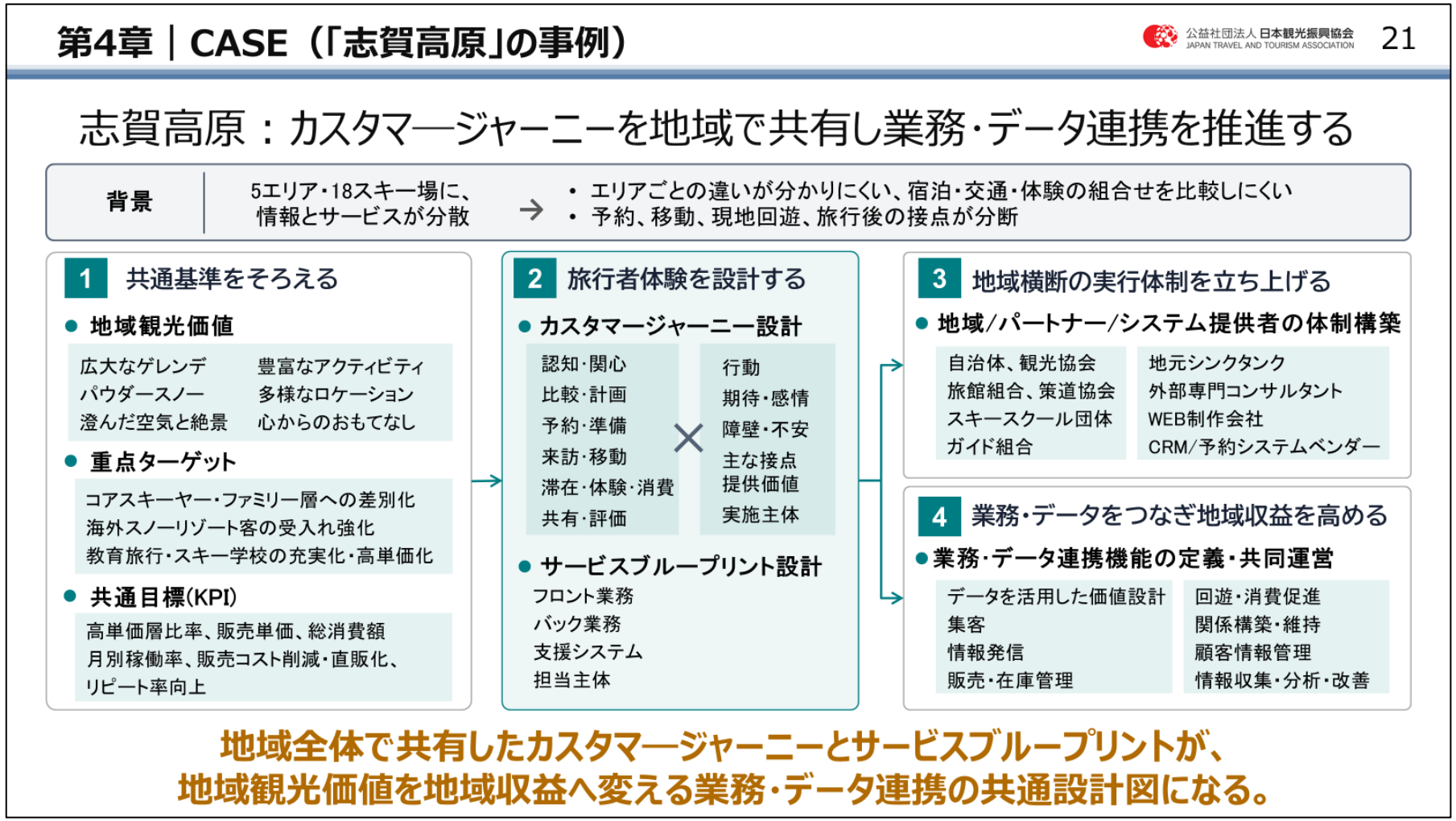
施策の目的によって，確認すべき指標は異なる

- ✓ 来訪者の増加？
- ✓ 認知の拡大？
- ✓ 域内消費の促進？ …etc.

1次的に得た**複数のデータ**を手掛かりに，次に確認・検証すべき**原因や仮説**を考える

仮説は追加的な情報収集等によって検証
→ **新たな改善策**につなげる

観光DX検定中級動画教材
第１部第４章「観光政策評価手法」の一部より抜粋



観光DX検定中級動画教材
第２部第４章「旅行者体験とマーケティングミックスの実装」の一部より抜粋

上級



データでビジネスを

組み立てる

上級	**目標スキル：複雑なデータセットを分析し、DX時代の需要予測や新しい価値をうみだす観光地経営戦略を意思決定者に提案できるスキルを有している。任意の観光地における傾向や、社会的・地域的背景をもとに今後の観光戦略の方向性を提案できる。** ✓初級・中級の基礎的知識の維持が前提 ✓複数データセットから観光地の動向を分析、傾向や需要予測を考察ができる ✓意思決定者の判断材料となる現状分析、需要予測、効果測定、評価、それらを基にした観光地経営戦略を作成、提案できる 認定基準：有識者による論文審査、面接など

開発中

2026年Dカレッジ
お申込手順のご案内

公益社団法人　日本観光振興協会
観光地域づくり・人材育成部　Dカレッジ担当

① Dカレッジ（観光DX検定・Dスタディ）お申込みサイトにアクセス

お申込みの流れをご確認ください
本検定システムでは、不正受講やなりすまし防止等のため、公的機関が発行した本人確認書類をご登録いただきます。



② 受講したいプログラムを選択し、お申し込みボタンをクリック



Dスタディは、ポップアップ画面にお申込みボタンがあります
「観光庁DMO要件対応講座」「専門講座」「地域事例シリーズ」の「詳細・お申込」を押すと講座一覧とお申込みボタンが表示されます。

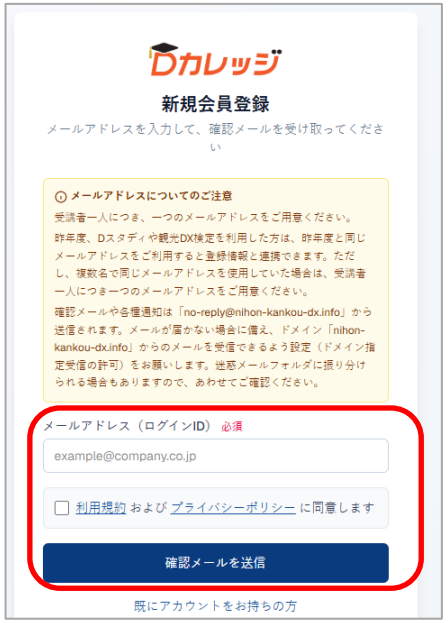


③ 初めてお申し込むとき―新規会員登録をクリック

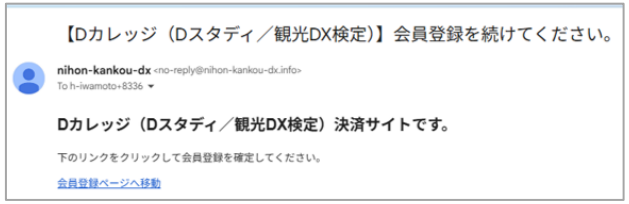


注意事項をご確認ください
受講お一人につき、一つのメールアドレスをご用意ください。





メールアドレスを入力
利用規約およびプライバシーポリシーをご覧ください。同意いただける場合は☑、「確認メールを送信をクリックすると、会員登録用URLをお知らせするメールが届きます。



④ 会員登録

画面に従って、パスワード、氏名、組織の種類、組織名、会員区分等を入力

昨年度、Eラーニングサイトをご利用した方は、昨年度の登録情報を反映させることができます。
【反映できる場合】
今回使用しているメールアドレスと、昨年度Eラーニングサイトで使用したメールアドレス、入力するログインIDが一致する場合



日本観光振興協会会員、学生の方は会員区分を☑
名刺または学生証を登録し、利用規約等の同意を☑、会員登録



⑤ 購入手続きー1　プログラムの選択、受講者の確定

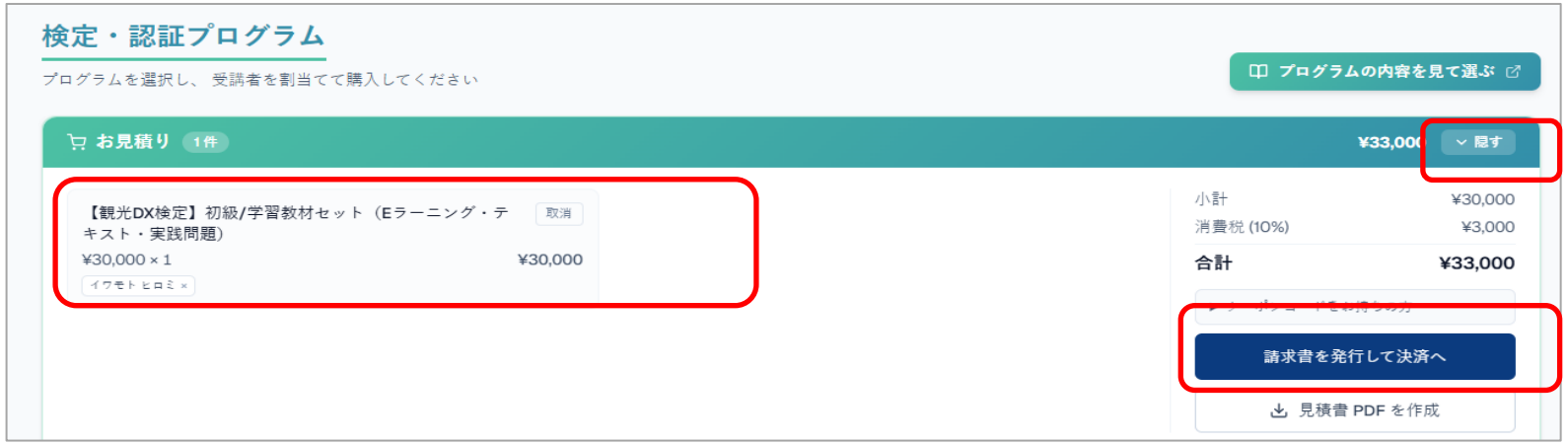
本システムは、お支払い手続きを済ませたのちに、受講手続きに進みます。
最初に、0円のお見積画面が表示されます。
スクロールして受講するプログラムを選択し、左下の「受講者を追加」ボタンを選びます。
登録者の氏名が表示されますので、「1名を確定」をクリックします。





⑤ 購入手続きー2　購入するプログラム、金額を確認

プログラムの名称、個数を確認し、間違いなければ、支払い（決済）へと進みます。
取り消したい場合は、プログラム名右の「取消」ボタンからキャンセルできます。
他のプログラムも受講する場合は、スクロールさせてプログラムを選択し、受講者を追加すると、お見積り画面に自動的に追加されます。
見積書、請求書の取得については「見積書・請求書・領収書ダウンロードガイド」をご覧ください。



⑥ お支払-1

決済ボタンを押して、画面の案内に従って支払います。
購入を取り消したい場合は、中ほどの「請求を取り消す」からキャンセルできます。



支払方法は、クレジットカード、銀行振込（ネットバンキング）、コンビニ決済からお選びください。
それぞれの画面の案内に従って期日までにお支払意をお願いします。
お支払いについてのご相談は、日本観光振興協会Dカレッジ担当までメールでご連絡ください（jinzai@nihon－kankou. or. jp）。
請求書、領収書の出力については、「見積書・請求書・領収書ダウンロードガイド」をご確認ください。



⑥ お支払-2

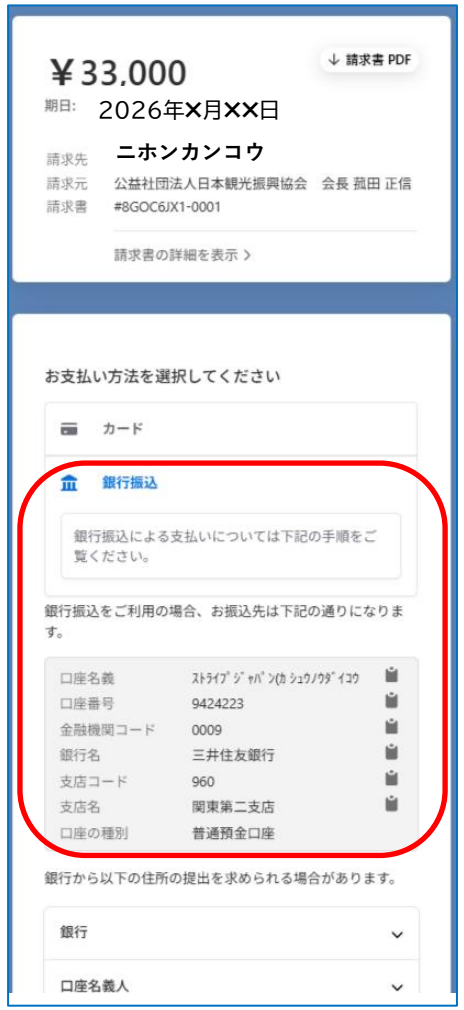
＜クレジットカード払い＞



＜コンビニ払い＞



＜銀行振込＞



⑦ 受講手続き

お支払が完了すると、受講手続きのご案内メールが配信されます。
案内に従って、Eラーニングサイトへログインし、受講手続きを進めてください。

From: 観光DX検定 決済サイト <no-reply@nihon-kankou-dx.info>
Date: 2026年7月6日(月) 午後8:00

Subject: 【Dカレッジ（Dスタディ／観光DX検定）決済サイト】決済完了及び受講手続きのご案内

To: <*****>**

本文：
お支払いを確認いたしました。ありがとうございます。

1 件のプログラムの決済が完了し、受講手続きが可能になりました。
以下のDカレッジ（観光DX検定・Dスタディ）サイトにログインのうえ、受講のためのお手続きを行ってください。
Dカレッジ（観光DX検定・Dスタディ）では、本人確認を公的機関が発行した写真付きの証明書（例：マイナンバーカード・運転免許証・パスポート）、学生の方は学生証により行っております。
お手数ですが、本人確認書類をご用意の上、以下のサイトより受講のためのお手続きをお願いいたします。

▼ Dカレッジ（観光DX検定・Dスタディ）サイト
https://＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

購入履歴・領収書はこちら:

https://＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Dカレッジのeラーニングサイトです。
ログインID、パスワードを入力、ログイン



⑧ Eラーニングサイトでの顔画像の撮影、本人確認書類の登録

◆顔認証システムについて

本検定システムでは、なりすまし受験や不正受講防止のため、初回のログイン時に、顔写真と顔写真付き個人確認書類（学生の場合は学生証）の登録をお願いしています。



1. ログインURLからID,PWを登録
2. プライバシーポリシーを確認、同意
3. 顔写真、本人確認書類の撮影
4. 本人確認の照合、承認
5. 受講案内メール受信
6. 受講開始

2回目以降のログイン画面では、カメラ前の顔画像と登録済みの顔画像データを自動照合し、判定します。

写真と登録いただいた顔写真データおよび個人情報は、個人情報保護法に基づき、検定システム内に安全・厳重に管理されておりますので、ご安心して

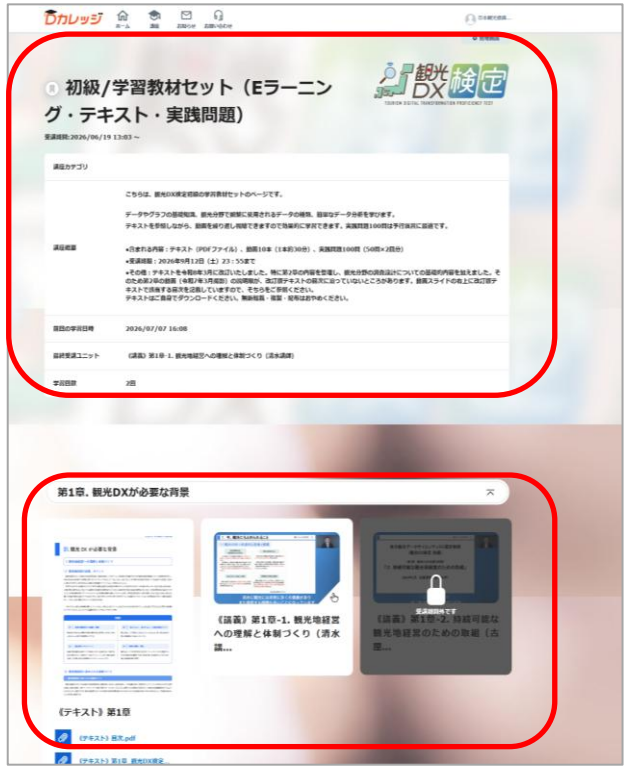
お申し込みください。ご不明な場合はお問合せください。(次ページをご参照ください)

⑨ 受講開始

本人確認書類承認完了後、Dカレッジ(Eラーニングサイト)にログインすると、
ホーム画面が表示されます。
上部の「講座」タブをクリックすると、購入した講座の一覧が表示されます。
講座名称をクリックします。



講座画面にて、テキスト・資料のダウンロードや、動画の視聴ができます。
動画を視聴後の実践問題・確認テストもこちらの画面です。
動画を最後まで視聴すると、実践問題(Dスタディの場合は確認テスト)に進むことができます。
(動画視聴が完了すると画面に黄色文字で「COMPLETE」と表示され、受講前の講座は「受講期間外」と表示されます)
Dスタディの確認テストは8割正答で、次の動画に進むことができます。



・ご質問は、お問合せフォームからお問合せください。
Dカレッジ運営事務局
（月～金、いただいたお問い合わせは
順次回答いたします）

・主催　公益社団法人 日本観光振興協会
観光地域づくり・人材育成部
Dカレッジ担当

～見積書・請求書・領収書関連でよくあるご質問とご回答～

Q 見積書・請求書・領収書の宛名等を変更してほしい

A 見積書・請求書について、オンライン上からの宛名の変更はできません。以下のメールアドレス宛に、①現在の宛名、②お申し込みの内容、③お申し込みの金額、④変更を希望する宛名を記載の上、お送りください。追って担当者よりご連絡をさせていただきます。尚、請求書の宛名を変更する場合については、決済システムのご利用ができません。当協会所定の銀行口座へのお振り込みにてご対応をお願いいたします。ご入金後、各種確認・設定のため、各講座の受講・受験まで通常で５営業日ほどお時間を頂戴いたしますので、予めご了承ください。また、決済完了後の請求書・領収書については、宛名等の変更の対応は致しかねますので、ご了承ください。

見積書・請求書の変更のご要望先　（公社）日本観光振興協会Ｄカレッジ担当　jinzai@nihon-kankou.or.jp　（平日9：30～17：30）

Q 組織で複数名で受講するので、まとめて代金を支払いたい

A 代表者の方が、受講される方をシステム上で事前に招待したうえで、講座申し込みの際に各商品で「受講者を追加」してください。
（受講者の招待方法については、別ファイル「代表者がまとめてお申し込みをする場合の手順」をご参照ください。）
その後、画面より決済を進めていただくことにより、一括して代金をシステム上でのお支払いいただくことができます。

Q 決済代行システムを使わずに、協会の銀行口座宛に直接代金を振り込みたい

A 担当者が別途対応いたしますので、**必ずシステムからの決済を行う前に**、以下のフォームから①請求書の宛名、②お申し込みの内容（プログラム名称・受講予定者全員のお名前）、③お支払予定日、④通帳に記載される送金者名（例・ｼﾔ)ﾆﾎﾝｶﾝｺｳｼﾝｺｳｷｮｳｶｲ)、⑤ご担当者様情報をご登録ください。

Dカレッジ（観光DX検定・Dスタディ）銀行振込登録フォーム　（リンクをクリックすると、フォームに進みます）

尚、見積書・請求書の発行にお時間をいただく場合がございます。各講座の受講・受験については、ご入金後が済み次第の対応となります。各種確認・設定のため、受講・受験ができるようになるまで、ご入金後通常で５営業日ほどお時間を頂戴しますので、予めご了承ください。

観光DX検定

TOURISM DIGITAL TRANSFORMATION PROFICIENCY TEST

お問い合わせ先

日本観光振興協会観光地域づくり・人材育成部
jinzai@nihon-kankou.or.jp